

# 七尾市農業委員会だより

2026  
春

令和8年5月1日発行／発行 七尾市農業委員会／編集 農業委員会だより編集委員会  
TEL 0767 (53) 8440／FAX 0767 (52) 7765／E-mail:nougyouinkai@city.nanao.lg.jp

No.77



## 地域計画を「実践」のステージへ

昨春、地域の皆様のご理解とご協力により、10年後の農地利用の姿を描いた「地域計画」が策定されました。あれから一年、この計画を土台として、いよいよ具体的な「実践」の段階へと入っています。

農業を取り巻く環境や、後継者の状況は日々刻々と変化します。国や県が提唱するように、地域計画は一度作って終わりではありません。これからは、意欲ある担い手への農地集約や効率的な利用に向けて、地域の現状に合わせて常に「ブラッシュアップ（磨き上げ）」を重ね、実情に即した生きた計画へと進化させていくことが重要です。

七尾の豊かな農地を次世代へつなぐため、まずは日頃から地域で話し合いをすることが大切です。より良い地域計画へブラッシュアップするため、引き続き皆様の声をお聞かせください。



## 「選ばれる産地」を目指して

### ―兵庫県豊岡市・西宮市を視察―

令和8年3月12日、農業委員11名・農地利用最適化推進委員5名の計16名で、先進地の視察研修を行いました。七尾でのトキ放鳥を見据えた「環境創造型農業」と、お米の流通の最前線を学びました。

#### 【視察1】JAたじま(兵庫県)

「コウノトリ育むお米」…  
環境を守ることが「価値」になる

コウノトリの野生復帰を目指し、地域一丸となって取り組む「コウノトリ育む農法」について説明を受けました。

- ・ 生き物を味方に…農薬を減らし、生き物を育む田んぼがお米の付加価値を高めています。
- ・ ブランド化の成功…環境への配慮が「選ばれる理由」となり、農家所得の向上に繋がっている点は、七尾のトキとの共生においても大きなヒントとなりました。



#### 【視察2】株式会社神明 西宮浜工場

「国内最大級の精米工場」…  
市場が求める「信頼」とは

国内最大手の米卸、(株)神明の最新鋭設備を備える精米工場を見学しました。全国から集まるトラックの多さに驚き！

- ・ 徹底した品質管理…異物混入を防ぐ最新技術、消費者の「安心・安全」への意識の高さを実感しました。
- ・ 安定供給の大切さ…市場では、味はもちろんのこと、品質の安定した産地が強く求められています。



#### 視察を終えて

今回の研修で、環境に配慮した農業が「地域の誇り」となり、消費者の信頼を積み重ねる姿を強く実感しました。能登半島地震からの復興、そしてトキの放鳥。転換期を迎える七尾の農業において、今回学んだ「環境との調和」と「市場ニーズ」をこれからの活動に活かしてまいります。

## ～トキとの共生に向けて～

きたる5月31日、羽咋市でトキの放鳥が行われます。放鳥後の定着に向けてマナーを守って観察することが大切になります。

#### 【トキの観察マナー】

1. トキには近づかず、遠くから静かに見守りましょう。
2. 繁殖期間（2月～7月）は巣に近づかないようにしましょう。
3. トキを見つけても餌をあたえないでください。
4. 地域に迷惑をかけないようにしましょう。



トキ PR キャラクター  
「のとっきー」

#### ■ 農家・地域の方々へ

農作業に従事されている方、地域の方は、作業中や普段の生活の中でトキが近くにいても過度な配慮は必要ありません。普段どおり過ごしながらかトキとの共生を目指していきましょう。

市 HP から観察マナー動画も視聴できます。

<https://www.city.nanao.lg.jp/nourin/tokikansatumana.html>



## 農業委員の食育活動について

日増しに暖かくなり、田畑もいよいよ春の装いとなってまいりました。農作物の準備に活気づく季節ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回も、農業委員会が取り組んでいる食育事業の様子をご紹介します。

◇令和8年2月19日（木）

七尾みなとこども園「味噌づくり」

地域の食材に触れ、食への理解を深めてもらうため、今年も「味噌づくり体験」を開催しました。当日は年中児14人が参加し、市農業委員と農地利用最適化推進委員がお手伝いをし園児たちをサポートしました。



まずは「大豆がどうやって育ち、どうやって味噌になるのか」という工程を学び、大豆が機械でつぶされる様子を、園児たちは興味津々に眺めていました。いよいよ実践では、丸めた「みそ玉」を投げに勢いよく投



げ入れる作業を体験！空気を抜くための大事な工程ですが、上手におけに入ると、子供たちは満足げな笑顔を見せてくれました。

◇「おいしくなれ！  
食べる楽しみを次世代へ」

子供たちからは「お豆腐の上にかけて食べたい！」「お魚につけて食べたい！」といった楽しそうな声が続々と上がりました。自分たちの手で作ることで、食材への関心がより一層深まったようです。

今回仕込んだ味噌は、今年の夏に食べ頃を迎えます。農業委員会では、こうした体験型の食育事業を通じて、子供たちが毎日食べているものに興味を持ち、健康やかに成長することを願っています。

これからも「地産地消」の推進を通じて、地域の豊かな農地を守り、次世代へつなぐ活動を続けてまいります。

## イノシシ有害捕獲数調べ (七尾市管内)

令和7年4月～令和8年3月末

月	成獣	幼獣	計	月	成獣	幼獣	計
4	17	0	17	10	34	10	44
5	13	0	13	11	70	5	75
6	23	12	35	12	21	0	21
7	18	63	81	1	33	0	33
8	19	82	101	2	37	0	37
9	21	36	57	3	55	0	55
成獣：80 cm以上 幼獣：80 cm未満			計	361	208	569	

令和7年度は成獣361頭、幼獣208頭、計569頭でした。令和6年度と比べると216頭の捕獲数が減少しました。

農作物への被害を防ぐためにも、猟銃免許を取得して有害捕獲隊員になりませんか。

【お問合せ】農林水産課鳥獣被害対策室 ☎53-8422

## イノシシによる農作物被害が発生する前に『周辺環境の管理』・『防護柵の点検』・『捕獲の強化』に取り組みましょう！

### 環境管理

#### 「寄せ付けない」

- ✓ 収穫後の残さ等は放置しない！
- ✓ 草刈りをして見晴らしをよくしよう！

### 防護

#### 「守る」

- ✓ 防護柵（電気柵など）の点検・電圧のチェックはこまめに！

### 捕獲

#### 「数を減らす」

- ✓ 成獣のメスを含む群れで捕まえよう！
- ✓ 地域で協力しよう！



# 水稻作一般の農作業受託料金

単位：円/10a当たり

作業別	個人農家			生産組織等		
	県	加賀	能登	県	加賀	能登
育苗(稚苗)	9,600	8,600	10,900	8,300	7,900	8,800
耕起から代かきまで	16,900	16,300	17,600	17,600	17,200	18,100
耕起	8,200	8,000	8,400	8,200	7,700	8,600
代かき	8,000	7,200	9,000	9,300	9,100	9,500
機械田植え(苗代別)	8,600	9,200	8,000	9,100	9,800	8,200
機械刈取(コンバイン)	21,000	21,700	20,300	21,600	22,300	20,900
刈取から乾燥・調整まで	36,100	36,600	35,300	37,100	38,900	35,500

※令和8年4月石川県農業会議所資料抜粋 100円未満四捨五入

## 七尾市賃借料情報

令和7年1月から令和7年12月までに締結(公告)された賃借料水準(10a当たり)は記のとおりです。

田(水稲)の部						畑の部					
		単位：円		単位：筆				単位：円		単位：筆	
地域名	平均値	最高額	最低額	賃貸借	使用貸借	地域名	平均値	最高額	最低額	賃貸借	使用貸借
旧七尾市	5,000	5,000	5,000	136	—	旧七尾市	—	—	—	—	—
旧田鶴浜町	4,000	5,000	3,000	11	—	旧田鶴浜町	—	—	—	—	—
旧中島町	0	0	0	—	2	旧中島町	—	—	—	—	—
旧能登島町	0	0	0	—	—	旧能登島町	—	—	—	—	—

- ※1 農振農用地(青地)及び農振農用地外(白地)を合わせたデータです。
- ※2 物納支給(水稲)としている場合は、玄米30kg当たり5,000円に換算しています。
- ※3 金額は算出結果を四捨五入し100円単位としています。
- ※4 賃借料金の発生していないものは平均値に含まれていません。

## 全国農業新聞

経営と暮らしに  
役立つ情報がいっぱい

を購読  
しましょう!

- ◆発行日 毎週金曜日
- ◆購読料 一カ月900円 年額10,800円

## 農業委員会申請事務処理件数

令和7年1月～令和7年12月末

区分	件数	面積(m <sup>2</sup> )
農地法3条(所有権及び利用権)	61	124,568.30
農業経営基盤強化法(利用権)	87	233,447.00
農地法第4条(農地転用)	11	4,221.00
農地法第5条(権利移動を伴う農地転用)	51	29,391.35

## 編集後記

能登半島地震から3度目の春を迎えました。農地や農道など災害復旧が遅れているところも多くみられ、何かと心配ごとも多いことかと思えます。農作業が本格化する時期となりましたが、特に足元の悪い場所での作業や機械の操作には細心の注意を払って安全確認を心がけ、ゆとりをもって作業に励みましょう。最後になりましたが、日頃から本誌の取材をはじめ、当委員会の活動へ多大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

編集委員一同

**=農業者年金への加入をお勧めします=**  
以下の要件を満たす人はみなさん加入できます!

60歳未満

国民年金  
第1号被保険者

年間60日以上  
農業従事

- 積立方式・確定拠出型で少子高齢化時代でも安心
- 月々の保険料が選べます  
(2万円～6万7千円、1,000円刻みでいつでも増減が可能)
- 終身年金です(80歳までの保証付き)
- 節税効果があります(保険料は全額社会保険料控除対象)
- 意欲ある担い手には最高1万円の保険料助成があります